

メインとなる農機関連部品は、年間、500点から800点 第二の柱は厳しい公差が求められるロストワックス部品

農機関連の足回りやミッション等で実績積む日昇工業(広島・福山市)
— ユキワ精工ツールリングユーザー訪問 — 林社長、岡田課長に聞く



取材に対応いただいた林社長

「農機関連の足回りやミッション関連部品を社は27年前、23歳の時中心に、ロストワックスに廻り、前職では5年部品、医療機器部品で型製作に従事していた昇工業を訪問した。」

林社長は「弊社は、創業以来、受注の要私の父が友人と、一緒に1974年に立ち上げた会社で、現在もメインを占める農機部品では年間、500点から800点に及ぶ。」「ロットでは50個から多くて1500個。傾向としてロット数は少なくなってきた。被削材は、鉄、鋳物が多く、大きさは手のひらサイズが基本」と林社長は概要を説明する。また、1990年代から受注スタートしたロストワックス関連は、リマ加工を要する精度重視の製品で実績を積み、第二の柱として成長してきた。現場の設備は、旋盤とマシニングセンタが中心だ。

製造を担う岡田課長によると「旋盤はD MG森とテックがメインで、マシニングセンタはD MG森に、比較的新で、その効果が実感でき、その結果はどうだったか。」「農機部品の加工では、切削音が静かになり、刃物寿命が1.2倍、1.5倍に伸びた。ロストワックス製品では、突き出しの長い加工で、その効果が実感できた。」

「農機関連部品では、面粗度が上がって、粗さ計で従来のR2.6、6.4、7.1、11.7と面粗度アップを確認。農機の鋳物部品では、Rの加工でも音が静かになった。」



リマの穴精度が一発で出る、と触れ精度の良さをアピールする岡田製造課長



加工音が静かになり、面粗度が向上した農機のハンドル部分

昨年からはグリーンG1チャックも活用
「農機関連に適用し、面粗度アップに貢献」

「7、8年前にスーパージョイントチャックにトライ」「農機部品は切削音が静かになり、刃物寿命が1.2倍、1.5倍に伸びた。」「ロストワックス部品は加工が安定し、補正を入れる回数が激減」

グリーンG1チャックは、およそ1年で3本活用しており「最近ではロストワックス部品でも活かすようになっていく」と言う。メーカーへの要望として林社長、岡田課長は「用途に応じた対応を検討していくためにも、スーパージョイントチャックの精度を発揮できるミリングタイプも、提供いただけたらありがたい」と結んだ。



特別賞 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

速くキレイに削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く
ツーリングシステム
グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A. <http://www.yukiwa.co.jp/>
グリーンG1チャック



検索